# 武　一　中

令和５年２月８日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ４－１５

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/


# 口と足で描く芸術家協会

校　長　　中嶋　建一郎

生徒会本部では、これまでコロナ禍以前にユニセフハウスを訪問し、そこで学んだ内容をユニセフ学習会として全校に広める活動を行ったことがありました。今回は、「口と足で描く芸術家協会」に協力していただき、その活動内容等を学習し、２月７日の朝礼の場で全校に広めてくれました。当日の発表内容の一部を生徒会本部で作成した原稿をもとに紹介します。

生徒会本部役員は１月２４日に「口と足で描く芸術家協会」の方とオンラインでインタビュー等のやり取りをしました。その時にインタビューに答えてくださったのが梅宮俊明さんです。

梅宮さんは、19 歳の時、自動車事故で脊椎を損傷してしまい、肩から下の感覚がないそうです。自立への道を模索する中で油絵の先生や仲間たちと出会い、口での描画を始めました。そして、2006 年、初めて障害画家の作品展に出展し、「全国肢体不自由児者父母の会連合賞」を受賞しました。2011 年には夢であった個展を開催し、成功させました。障害のある仲間たちに夢を少しでも与えられる絵を描きたいと奮闘中だそうです。

梅宮さんは交通事故にあう前から絵を描いていたわけではなく、ゼロから少しずつ練習したそうです。描かれた絵は梅宮さんの努力の結晶であり、「生きている証」だと話されていました。

実際に口で絵を描いている様子を見せていただきました。それを動画撮影したものを投影します。使う筆は咥えやすいように工夫されています。絵の具はヘルパーさんに出しておいてもらい、それを自分で混色して描きます。

脊椎を損傷してしまうと長い時間座って作業をすることができないので、1 日の作業時間は 1 時間から 2 時間です。また、1 つの作品を完成させるのに小さな絵で約 1 ヶ月かかり、大きい絵だと 3～4 ヶ月程かかるそうです。

梅宮さんは中学生に大切にしてほしいこととして、２つ話してくれました。一つが「夢や目標をもってほしい」こと。もう一つが「何ごとも継続することを大切にしてほしい」ということです。せっかくいい目標を掲げても、続けられなければあまり意味がありません。頑張ればそのぶん自分に返ってくる。梅宮さんの絵がそのことを証明していると言えるでしょう。

## ◇◇一中生の活躍◇◇

【ソフトテニス部】第９ブロック研修大会

男子の部　優勝　田中　奏匠・山口　諭志

【陸上競技部】　東京都中学校ロードレース大会

女子２・３年東部１ｋｍ競走

第１位　３分２５秒　森髙　榎梨

第４位　３分４５秒　原口　亜純

女子１年東部１ｋｍ競走

第４位　３分４４秒　塚本　妃詠

第５位　３分４８秒　五十嵐　灯

男子２・３年東部２ｋｍ競走

第４位　６分５９秒　春原　尊匡

【武蔵野市教育委員会児童生徒表彰】

深田　真央　（第７６回全日本学生音楽コンクール 東京大会　ピアノ部門　入選）

廣田　悠吾　（第２４回ジュニア管打楽器コンクール　クラリネットの部）

白井　虎次郎（第７９回全国舞踊コンクール　邦舞第二部　９位入賞）

【吹奏楽部】

アンサンブルコンテスト　金賞

同　　都大会　銀賞